

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

ベートーヴェン生誕250年プロジェクト / 2016-2020 and beyond

Beethoven's 250th Anniversary / 2016-2020 and beyond project



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

# Music for Peace Concert



指揮: クシシュトフ・ペンデレツキ

Conductor: Krzysztof Penderecki ©Schoff Promotion and Peter Anderson



ヴァイオリン: 庄司紗矢香

Violin: Sayaka Shoji ©Kishin Shinoyama

## Program

《日本・ポーランド国交樹立100周年》

The 100th Anniversary of the Establishment of Diplomatic Relations between Poland and Japan

ペンデレツキ / 平和のための前奏曲

Penderecki: Prelude for Peace

ペンデレツキ / ヴァイオリン協奏曲第2番  
「メタモルフォーゼン」

Penderecki: Violin Concerto No.2 "Metamorphosen"

ベートーヴェン / 交響曲第8番へ長調

Beethoven: Symphony No.8 in F major Op.93

2019.6.20 木 18:45開演  
(17:45開場)

Thursday, June 20 2019 Start:18:45 (Open17:45)

広島文化学園HBGホール (広島市中区加古町3-3)

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット料金 全席指定(税込)

S席 5,000円 A席 4,000円 (学生 1,500円)

\*学生券は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い。)

プレイガイド チケット発売日/2019年2月25日(月)


エディオン広島本店、福屋八丁堀本店、福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、広島アーツ楽器、ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)、ローソンチケット(Lコード:62732)、チケットぴあ(Pコード:142-523)、広響事務局(学生は広響事務局のみ販売)  
\*広響コンサート会員、中国新聞ちゅーピークラブ、マロニエカード(ひろしま美術館)、JAF会員は割引があります。

## Guest musicians

"Music for Peace"を発信するため海外から  
オーケストラ奏者とジャーナリストを招聘します

● デンマーク国立交響楽団 DR Symphony Orchestra, Denmark  
ファゴット奏者: ドーテ・ベニケ Fagott: Dorte Bennike  
首席ホルン奏者: ラッセ・マウリツェン Horn: Lasse Mauritzen

\*やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する可能性があります。\*就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。\*開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。

主催/公益社団法人広島交響楽協会 共催/中国新聞社 協力/KAJIMOTO  
後援/  デンマーク大使館

〈お問い合わせ〉 広島交響楽団事務局 TEL:082-532-3080(平日9:00~17:20)

日本・ポーランド国交樹立100周年  
(1919~2019年)記念事業



広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

ベートーヴェン生誕250年プロジェクト / 2016-2020 and beyond

Beethoven's 250th Anniversary / 2016-2020 and beyond project

# Music for Peace

## Concert



指揮: クシシュトフ・ペンデレツキ Conductor: Krzysztof Penderecki

ポーランド人作曲家、指揮者。

広島の犠牲者に捧げる哀歌(1960)、ルカ伝による受難曲(1966)、ジャニーヌ・ヤンセンとジュリアン・ラクリンのために作曲されたダブル・コンチェルト(2012)などの名曲がある。

NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団、MDR交響楽団の客演指揮者、カザルス音楽祭(プエルトリコ)の芸術監督、北京音楽祭のアーティストティック・アドバイザーを歴任。2003年よりシンフォニア・ヴァルソヴィアの芸術監督を務め、多彩なプロジェクトを展開している。ポーランド国立放送交響楽団、シンフォニア・ルヴェンタス、ベートーヴェン・アカデミー管弦楽団、シンフォニエッタ・クラコヴィア、ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団とも定期的に共演。2014年にはアンナ・シュミットにより、ペンデレツキの音楽と人生を追ったドキュメンタリー「Paths through the Labyrinth」が撮影された。2018/2019シーズンでは、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管弦楽団、東京都交響楽団、広島交響楽団、ザールブリュッケン・カイザースラウテルン・ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、リスボン・メトロポリタン管弦楽団を指揮。近年のハイライトは、ベルリン放送交響楽団、モーツァルテウム管弦楽団、ワイマール・シュターツカペレ、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、スペイン国立管弦楽団、ガリシア交響楽団との共演、2017年ブラハの春音楽祭のクロージング・コンサート(ブラハ放送交響楽団)、南米ツアー(サンパウロ交響楽団)などがある。

2017年のグラミー賞にて最優秀合唱パフォーマンス賞を受賞、5度目の受賞となる。

ヴァイオリン: 庄司紗矢香 Violin: Sayaka Shoji

1999年バガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで史上最年少かつ日本人として初めて優勝。グラモフォン誌に「絶大なスタミナと何事にもひるまない精神、希有な音楽家」と評され、ズービン・メータ、ウラジミール・アシュケナージ、マリス・ヤンソン、パーヴォ・ヤルヴィ、オスモ・ヴァンスカ、アントニオ・パッパーノなどの世界的指揮者と共演を重ねている。

近年では、マリンスキー劇場管弦楽団(ワレリー・ゲルギエフ)と日本ツアー、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団、アイスランド交響楽団、NHK交響楽団(ウラジミール・アシュケナージ)、トーン・キュンストラ管弦楽団(佐渡裕)などと共演している。

ドイツ・グラモフォンへ、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲、テミルカーノフ指揮、サンクトペテルブルク・フィルとのベートーヴェン&シベリウスのヴァイオリン協奏曲など多数のアルバム録音がある。最近では、ウィーン楽友協会で佐渡裕とトーン・キュンストラ管と共演したバーンスタインのセレナーデのライブ録音をリリースした。

2016年毎日芸術賞受賞。使用楽器は、上野製菓株式会社より貸与された1729年製ストラディヴァリウス“レカミエ(Recamier)”。



広島交響楽団 HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広島は、2017年4月より下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。2015年8月、被爆70年として広島とサントリーホール(広島初)で行われた「平和の夕べ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめた。これを機にアルゲリッチに広島「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に世界平和のための音楽活動を続けることを約束した。2016年4月にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデが広島ミュージック・パートナーに就任した。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

## 広島交響楽団 “Music for Peace”

### — 2020年、そして未来に向けて

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、国際平和文化都市であり世界的な認知度を持つ「広島」のオーケストラとして、世界に音楽文化と平和発信する公演を企画し実現に向けて取り組んでまいります。2020年が生誕250年となるベートーヴェンの作品で、文化芸術を高らかに奏でることにより、平和と文化の祭典としてのオリンピックを盛り上げたいと考えています。

### — 事業の指針

- 日本国内そして世界に向けた平和のメッセージと文化発信を行います。
- 世界的な平和発信のために海外オーケストラ奏者の招聘と交流を行います。
- 海外への情報発信も積極的に行います。



広島公式ホームページ